



椿キッズ



第4号

We are Tsubaki-kids.

楽しかった遠足



この日、1年生は初めての遠足でしたが、お兄さんお姉さんに教えてもらったり、遊んでもらったりして、とても嬉しそうでした。全校の仲間が親くなれた有意義な行事になりました。

また、高学年は深伊沢小学校と鈴西小学校を交えての交流会に参加しました。お互いの顔を見て挨拶をした程度でしたが、近い将来、鈴峰中学校で共に学ぶ仲間と顔を合わせておくことで、少しでも緊張感が緩和されるといいなと思いました。保護者の皆様には、朝早くからのお弁当のご準備など、お世話になりました。また、PTA 広報部の皆様には、子どもたちの写真を撮ってもらいながら長時間子どもたちを見守っていただき、たいへん助かりました。ありがとうございました。

5月2日(木)、さわやかな晴天のもと、遠足が実施されました。

今年度も、徒歩とバスでフラワーパークを目指しました。到着してからクラス写真を撮った後、フラワーパークの遊具や広場でみんな元気よく遊んでいました。

全員がそろって、縦割り班でウォークラリーを楽しみました。班で協力して謎解きをしながら、仲間としてのつながりを深めていく子どもたちの姿がありました。

お昼になると、子どもたちは、お家の方に作ってもらったお弁当をおいしくいただきました。お弁当をもとに会話はずんでいました。



運動会に向けて



運動会が近づき、子どもたちの練習にも気合が入ってきました。体育館にも、校庭にも、表現運動の音楽や応援の元気なかけ声が響いています。

今年度のスローガンは、「心を一つに、最後まで全力で!」になりました。椿小学校は、昨年度に実施した非認知能力に関するアンケートで、「あきらめずにやり抜く力」が少し弱い傾向にあることが分かってきました。この運動会をきっかけにして、練習でも本番でも、勝ち負け

に関係なく、最後までやり抜くすばらしさを体験してほしいと思います。温かい声援や励ましが、何より子どもたちを育てますので、保護者の皆様、地域の皆様、応援よろしくお願いたします。

第1回学校運営協議会

学校運営協議会は、学校と地域、保護者の代表の方々に構成される組織です。様々な教育課題について熟議し、協働して子どもたちへの教育を行っていきます。

5月16日(木)に行われた第1回の学校運営協議会では、今年度の椿小学校の学校運営方針や予算を承認していただき、学校関係者評価の指針や卒業式の服装等について検討していただきました。

委員の皆様には、地域の様子や学校の現状をご理解いただいたうえで、毎回貴重な助言をいただいております。今回は、登下校についての安全や児童支援についてご意見をたくさんいただきました。貴重なご意見をありがとうございました。

右は、今年度の学校運営協議会の委員の皆様です。一年間、お世話になります。よろしくお願いいたします。

委員長	学習支援ボランティア	三浦 照明 様
副委員長	椿っ子見守り隊	荒山 哲次 様
委員	椿地区自治会長理事	辻本 芳樹 様
委員	小社地区自治会長	北條 裕人 様
委員	地域コーディネーター	早川 待子 様
委員	民生委員	中村 ちよみ様
委員	椿っ子見守り隊	高橋 勝美 様
委員	椿っ子見守り隊	内山 周二 様
委員	学校支援ボランティア	谷村 尚子 様
委員	PTA 会長	今村 一仁 様
委員	校長	平子 琢也
事務局	教頭	扇野 元美
事務局	学校担当	丹羽 和歌奈
CS アドバイザー	鈴鹿市教育委員会 教育支援課	加藤 稔明 様

椿小学校の教育目標

「自ら学び、力を合わせてやりぬく子どもの育成」

本校の教育目標には、子どもたちに、変化の激しい社会を生き抜くため、自ら進んで学び、より良い方法を考え、仲間とともに様々な課題を解決していくことができるような力をつけてほしいという願いが込められています。

その第一歩となるのが、基礎基本の学力とその学び方です。今年度も、子どもたち自ら学習に向かうことができるような授業改善を継続しながら、様々な課題を仲間とともに解決していく機会を授業の中でたくさん作っていきたくて考えています。また、10月18日に予定されている鈴鹿市教育研究会の研究発表会で、本校がこれまで取り組んできた学びの成果を発信していく予定です。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度も本校の教育活動に、ご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

教科担任制・チームティーチングの実施

今年度も、教科担任制を全学年で実施していきます。椿小では、昨年度から各学年の担任が他学年の体育、家庭、英語、道徳、書写など、一部教科を交換する形態をとったり、専科の教員が全学年に渡って、国語、社会、算数、理科、音楽、図工、家庭、道徳などの教科を受け持つ形態をとったりしています。

また、今年度も、チームティーチングや学年間交流を積極的に行うことで、すべての教職員が、学校の子どもたち全員を見ることができるよう体制を作っていきます。たくさんの目で子どもたちの様子を多角的・多面的に見ることで、個別の支援を充実させたり、授業改善に生かしたりしていきたいと思っています。